

週間漁海況情報—第44号

平成28年11月8日

内容は水産研究課ホームページでも公開しています。
更新は、原則として火曜日夜間におこないます。

徳島県立農林水産総合技術支援センター
水産研究課海洋生産技術担当

海況

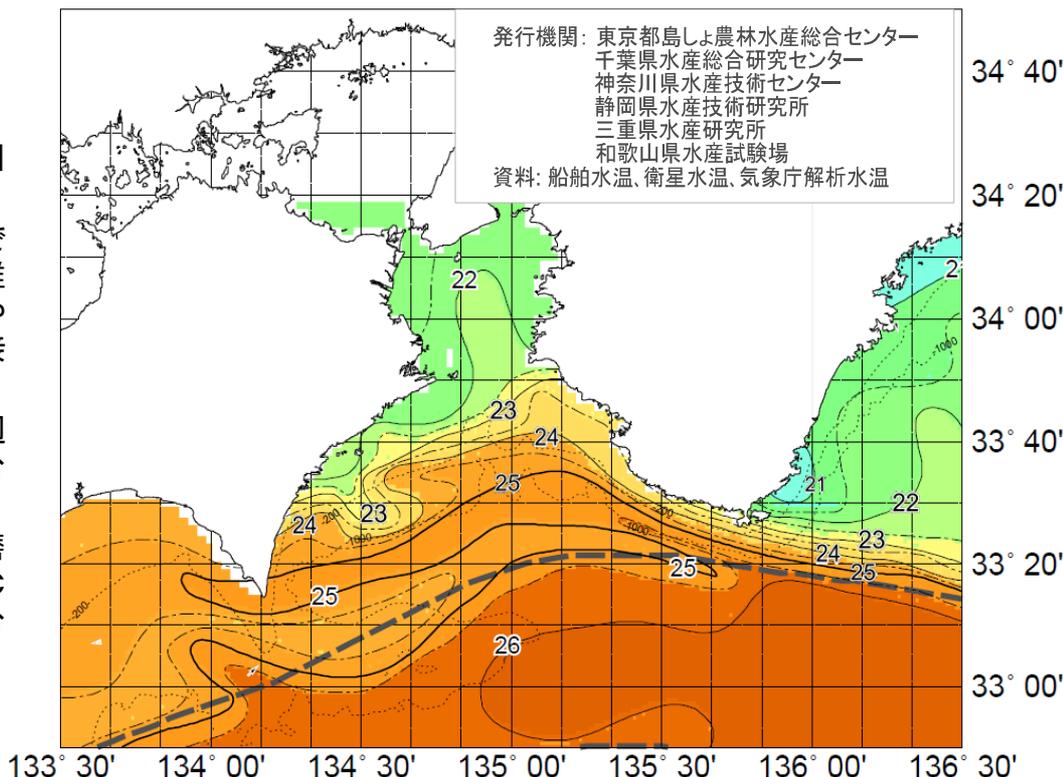
1. 周辺海域の水温

右に11月7日時点の海況図を示した。

黒潮の位置は、室戸岬沖では先週から引き続き「やや離岸」、潮岬沖では先週からやや離岸したものの引き続き「接岸」で推移した。

黒潮本流の表面水温は先週からは下がって25℃～26℃台となっている。

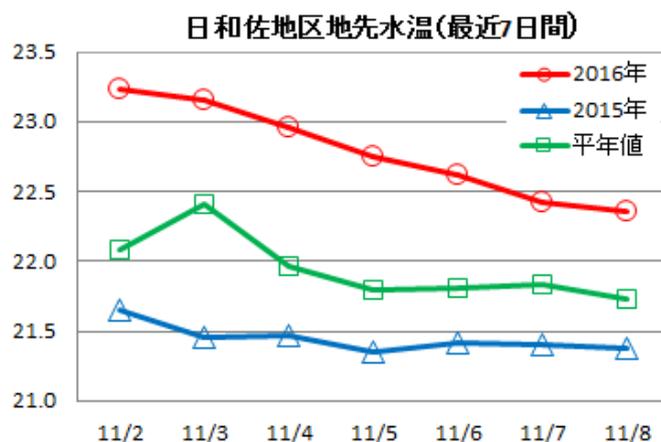
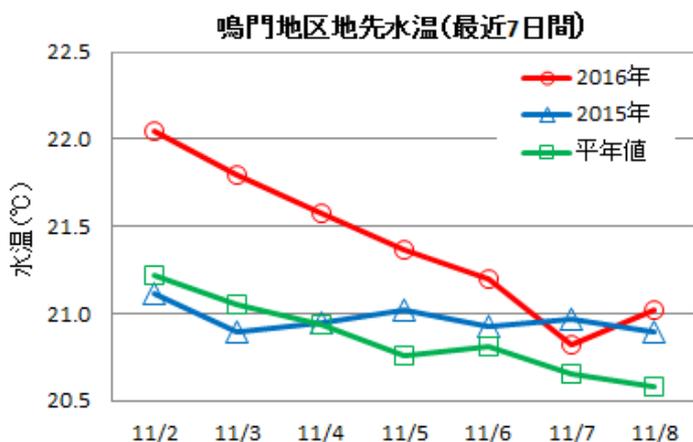
徳島沿岸の水温は、播磨灘、紀伊水道で21℃～22℃台、海部沿岸で21℃～22℃台となっている。



海況図は、平日夕方に水産研究課HPの「地先水温情報」のページに、前日分と当日分を掲載しています。

2. 地先水温(11月2日～11月8日)

鳴門地区は期間前半大きく低下し、9月27日以来の「やや高め」から11月6日には「平年並み」まで下がって22.1℃～20.8℃、日和佐地区は低下したものの依然として「やや高め」の23.2℃～22.4℃であった。



※水温の高低 平年並: 平年値±0.5℃未満, やや高め/やや低め: 平年値±0.5℃以上1.5℃未満
 高め/低め: 平年値±1.5℃以上2.5℃未満, かなり高め/かなり低め: ±2.5℃以上
 ※平年値 鳴門地区: 1981年～2015年の平均値、日和佐地区: 1982年～2015年の平均値

3. 週間予報(11月9日～11月15日)

黒潮は、室戸岬沖でやや接岸傾向になるものの引き続き「やや離岸」、潮岬沖でやや離岸傾向となるものの引き続き「接岸」で推移する見込み。

地先水温は鳴門地区は「平年並み」の20℃台前半、日和佐地区は「平年並み」～「やや高め」の21℃台で推移する見込み。

漁況 10月31日～11月6日

全体的に漁獲量が増えた。海部沿岸では大型定置網の操業が始まった。

1. 紀伊水道(標本漁協数:3)

建網でカワハギが1.0ト、小型定置網でマアジが1.0ト、マルアジが0.4ト、底びき網でクマエビ(足赤えび)が2.4ト水揚げされた。

2. 海部沿岸(標本漁協数:4)

釣りでタチウオが0.7ト、延縄でキダイ(れんこだい)が0.6ト、小型定置網がかます類が1.1ト、大型定置網でマサバが0.9ト水揚げされた。

漁獲量集計表(漁獲が0.2ト以上のものを抜粋)

海区	漁業種類	出漁隻数 (のべ)	魚種	漁獲量	(kg)	銘柄	前週比※
					1日1隻あたり 平均漁獲量		
紀伊水道	船びき網	87	シラス	58,000	667		↗
		137	サワラ	9,200	67		↗
	41		シマフグ	252	6		↗↗
	建網	66	カワハギ	1,015	15	大主体	↗
		45	その他のかわはぎ類	263	6	大主体	↗
		32	メジナ	201	6		↗↗
	小型定置網	21	マアジ	1,023	49	小小主体	→
		14	マルアジ	391	28		↗
		7	クロサバフグ	359	51		↗↗
		15	ブリ	315	21	つばす主体	↗↗
		19	マダイ	217	11	小主体	↗↗
		17	イサキ	215	13	大主体	↗
		16	ぐち類	206	13		↗
		底びき網	55	クマエビ	2,405	44	
	42		タチウオ	1,342	32		→
	45		ハモ	610	14		→
	49		コウイカ	605	12	小主体	→
	45		シリヤケイカ	530	12		↗↗
	44		イボダイ	464	11	大主体	→
	34		えそ類	360	11		↗↗
	49		ぐち類	328	7		→
	43		かます類	259	6		↗
	23		サワラ	246	11	特大主体	↗
46	いとより類		245	5		↗↗	
海部沿岸	釣り	42	タチウオ	738	18		→
		24	ブリ	337	14		↗↗
	延縄	32	キダイ	584	18	大主体	↗
		小型定置網	17	かます類	1,140	67	
	12		マルアジ	614	51	小小主体	↗
	26		マアジ	418	16	小小主体	↗
	28		メアジ	305	11		↘
	14		タチウオ	298	21		↗↗
	22		ヒラソウダ	249	11		↗
	大型定置網	2	マサバ	850	425	小主体	
			サワラ	425	212	さごし主体	
メアジ			284	142			
イサキ			212	106			

※ 前週比 200%以上:↗↗、120%～200%:↗、80%～120%:→、50%～80%:↘、前週比50%未満:↘↘